

組合だより

JA

おからく

スゴいぞ!
牛乳

2024

2

vol.260

令和6年2月13日発行

発行：おかやま酪農業協同組合

責任者：小椋 孝史

津山市川崎94-1

☎(0868)26-1101

令和4年度

「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



優秀賞 教育長賞 総社市立山手小学校3年 鈴鹿 敦士

(絵の説明)

ぼくは、牛乳が大好きです。なので毎日のんでいます。本物の牛を見に行きました。牛がかわいくて大きかったので絵をかきました。

2槽式洗濯機のスススメ

乳房炎対策は、牛を飼っている限り続く永遠のテーマとも言えます。牛の体調、牛舎の環境、エサの給与量や成分、搾乳手技等々、多岐にわたりその要因は存在します。いろんな手段をもって乳房炎対策を講じておられると思いますが、その中の一つの取り組みとして搾乳タオルの洗い方を考えてみます。

そもそも、1頭につき1～2枚のタオルを使用されている農家が主流と思いますが、種類も布タオル、不織布タオル、ペーパータオル等さまざまです。農家ごとに利便性を考慮し使い分けておられます。

ポイント

- タオルを介して細菌が乳頭に付かないように考える
- タオルは布タオルより不織布タオルの方が汚れが落ちやすく劣化も少ない
- 汚れたタオルの洗い方が重要⇒**すすぎ工程が極めて重要！**
- 汚れをできるだけタオルから分離するために手による粗洗いや洗濯機で注水すすぎを行い、その後洗濯行程に入るのが望ましい
- 洗剤は殺菌効果のある専用洗剤がよい
- ※専用洗剤を投入し、洗濯後の注水すすぎは3分程度（すすぎ過ぎると殺菌成分が落ちてしまう）
- 専用洗剤を使用することで、タオルの乾燥（干す作業）を省くことができる
- 定期的（1ヶ月程度）に洗濯槽クリーナーを使用し、洗濯槽内の除菌をする
- 自動洗濯機の場合、通常は節水等の関係上、時間が短縮されていることが多いため、マニュアルコースでの洗濯が有効
- ※以上の点から、2層式洗濯機は、注水しながらの洗濯もでき、水量も多く使用するので自動洗濯機より汚れも落ちやすく、2層式に替えたら乳房炎が減ったという報告も多々あります。皆さんもピンとくることがあるのではないのでしょうか。

時間的拘束や手動による労力負担はありますが、まずは「牛のために！」を最優先に考え、今度買い替えるときは2層式洗濯機も検討してみてもはいかがでしょうか。

(事業本部)



①専用洗剤を水で溶かして投入



②汚れたタオルを洗濯



③洗濯終了後、3分程度注水しながらすすぎ



④専用洗剤なら脱水のみで終了

搾乳開始



⑤クーラーボックスに60~70℃のお湯を入れる



⑥乳頭保湿剤投入



⑦搾乳アイテムセット完了



⑧清拭後のタオルは別カゴへ

子牛を寒さから守る！冬期における子牛管理について

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 中四国事務所 伊藤 舞優

はじめに

いつもお世話になっております。全酪連の伊藤舞優です。暦の上では春となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私事としましては、残り2ヶ月ほどで、入会してから1年が経とうとしています。出身である千葉県では、雪とは無縁の生活をしてきたため、暖冬とはいえ、岡山県の冬の厳しさを感じているところです。

さて、入会してからの1年間、初めての酪農、初めての冬の寒さを学んだ私ですが、酪農においては子牛の管理、特に寒さに弱い子牛の冬場の管理が重要であることを学びました。そのため、今回は「冬期における子牛管理」について少しお話しさせていただきます。

昨年のおからく日より9月号にて、「哺育管理と代用乳」について掲載しており、内容が重複している点もあるかと思いますが、最後までお読みいただけますと幸いです。

子牛管理の重要性

出生子牛の約4%は、下痢や肺炎などで生後2ヶ月以内に死亡しており、特に下痢は離乳前子牛における斃死の主な原因です。また、離乳前子牛のうち、約25%は下痢や消化器系に問題があると言われています。このように、子牛の適切な管理は子牛の疾病率や死亡率を減らすため、酪農経営における利益向上に大きく貢献できます。

新生子牛の特徴

子牛は最低限の抵抗力のみで産まれてくるため、初乳給与を始めとした、産まれたその日の管理が重要です。

新生子牛は、体脂肪率が体重の約3~4%と低く、皮下脂肪も少ないといった特徴があります（ヒト新生児の体脂肪率は約10~15%）。また、体表面が容積に比べて大きく冷えやすい（放熱しやすい）ため、和牛やF1などの小さい子牛には特に寒冷ストレスに注意が必要です。

日齢が若いほど低温環境に敏感で、生後21日齢未満の子牛は15℃以下で寒冷ストレスを受けると言われています。（NASSEM2021）一方で、日齢が上がる（増体する）につれて被毛が長くフワフワになることで、深部体温維持の能力が少しずつ上がり、寒冷への耐性が向上します（下限温度=5℃）。

寒冷ストレスへの対策として、「環境面における寒冷対策」と「栄養面における寒冷対策」があげられます。

環境面の寒冷対策

環境面での寒冷対策では、寝床を冷やさないことが重要です。

コンクリートなどの床は、子牛を冷やすと同時に体温を奪うため、敷料をたっぷり入れる、厚目の（10cm以上の）断熱材を使用するなどの対策で、コンクリートからの冷気を遮断しましょう。（図1）持ち運びや購入が難しい場合は、ラバーマットやお風呂マットなど、身近に売っている薄めのマットでも良いです。また、敷料を入れる際は濡れたところは取り除くようにしましょう。膝をついて20秒後に、膝が湿るような敷料では子牛は冷えてしまいます。（図2）

一方で、寒くても換気は必要です。新鮮な空気を供給すると同時に結露しないように湿度を低くしましょう。この時、寝床にブルーシートやつい立をするなど、直接風を当てないような小屋づくりを意識し、隙間風にも注意しましょう。（図3）

この他にも、寒冷対策として子牛用のベストやヒーターなども活用しましょう。（図4）



図1 コンクリートを遮断

敷料スコア	概要
1	大鋸粉や砂を使用した敷料で見られる。敷料の一部が踏を覆う程度の量で、夏場に見られるが寒冷期には適当でない。
2	子牛が寝た際に足の一部が見られる程度の敷料量。冬季に十分な敷料が与えられていない事を示す。
3	冬季の理想的な敷料量。子牛が寝た時に四肢すべてが埋まる量の敷料を供給。大鋸粉を7cm程入れ、その上に寝ワラを敷くのが理想的。

図2 敷料スコア

(Veal Farmers of Ontarioから引用・改編)

栄養面における寒冷対策

餌から得られるエネルギーには利用優先順位があり、最初に体温や免疫系の維持に利用され（維持エネルギー）、余ったエネルギー分が成長に利用されます。

気温が下がるにつれて、維持エネルギーの要求量は増加します。増加した維持エネルギー要求量を充足させながら通年で日増体を安定させるためには、寒冷期の代用乳の増給が推奨されます。代用乳の給与量を増やす場合は、気温が10℃下がったら10%を目安に哺乳量を増やし、1度の給与量が多くなる場合は、給与回数を増やして複数回に分けて給与してください。

哺乳量の増加以外にも、油脂割合が多くエネルギー価の高い代用乳への変更も推奨されます。ただし、濃度が濃いと下痢の原因となるため、濃度は通年で一定させ、冬場と夏場で代用乳を変える場合でも、溶解湯量は変えないようにしましょう。

油脂は子牛の摂取エネルギー源として重要で、牛の一生のうち哺乳期間が最も高い割合で飼料中から油脂を摂取します。そのため、代用乳の油脂原料は、子牛の消化吸収に適したものであることが重要です。油脂の消化性は主に以下の3項目で評価されます。

1つ目は脂肪酸組成です。中鎖脂肪酸（炭素数5～12）は即効性のあるエネルギー源として利用され、長鎖脂肪酸（炭素数>12）は体への蓄積に多く利用されます。どちらも子牛にとっては重要な脂肪酸ですが、長鎖脂肪酸が代用乳の処方に多く使用されていると消化性が低下します。

2つ目は融点です。炭素数が多い油脂（長鎖脂肪酸）だと融点が高くなり、融点が高い油脂は消化性が低下します。

3つ目は脂肪球の大きさです。脂肪球が小さいと油脂の分散間隔が安定するため、分離しにくくなります。また、乳化（水と油の親和性を持たせる）しやすくなり、親水性が上がるため消化性も上がります。

全酪連の代用乳製品である「カーフトップシリーズ」は、消化吸収されやすい中鎖脂肪酸をエネルギー源として使用しています。また、ホモジナイズ処理によって油脂を細かく、脂肪球が生乳より小さくしているため（直径2ミクロン）、消化吸収に優れた製品となっています。（図5）さらに、全卵粉末を添加することで子牛の腸内環境の維持も期待できます。全酪連の代用乳製品は特殊な製造方法によって代用乳粉体の油脂がべたつかないため、消化性と作業性の両面を兼ね備えた代用乳となっています。

おわりに

今回は、冬期の子牛管理について簡単にお話しさせていただきました。全酪連では、子牛用のベスト「モーベスト」や子牛の腸内環境を整える「グロウパワー」「ソブリスコア」なども取り扱っています。詳しくは全酪連職員へお問い合わせください。最後までお読みいただきありがとうございました。寒い日が続くかと思いますが、体調を崩されませんようお過ごしください。今後ともよろしくお願いたします。



図3 つい立を使った小屋



図4 全酪連「モーベスト」

脂肪球の比較

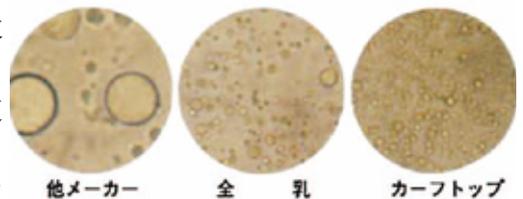


図5 脂肪球の大きさ

ZENRAKUREN
機能性全卵粉末製品

全酪連の牛用混合飼料

Grow Power

グロウパワー 内容量 200g袋×10

●● 機能性ある全卵粉末と、乳糖、ビフィズ菌を配合 ●●

全酪連畜産部飼料課

ZENRAKUREN

食物繊維や乳酸菌が
子牛の腸内環境を支えます

ソブリスコア

内容量 80g×30袋×4=1箱
4kg×2=1箱

子牛の消化・機能性に優れた各種成分を配合しました!

食物繊維 酵母 乳酸菌 ビタミン 全卵粉末 プラック

全酪連畜産部飼料課

おからく酪農講演会

令和5年12月13日、「おからく酪農講演会」が岡山市の岡山国際交流センターで開催されました。酪農ジャーナリストの稲葉武洋氏が『最近の乳価情勢から酪農家が「考え直す」べきこと』と題した講演を行いました。以下、講演の要旨を紹介します。

近年の主要な乳価関連情勢

国内の酪農の生産基盤の弱体化で、生乳需給そのものがひっ迫し、2013年から14年には深刻なバタ不足になった。夏場の飲用需要期に生乳が足りない乳業が大騒ぎする状況が恒常化。北海道からの広域生乳輸送も、真夏に集中する需要



講師の稲葉武洋氏

に対応できなかった。

そこで15年頃に、乳産抛出の特別対策チームによる支援やTPP保障を名目に政府が取り組んだクラスター事業などの大型の生産基盤対策が始まった。また、雌雄判別精液など新しい技術で、急速に生産が回復した。

一方で、公官庁は生乳不足を批判材料に、指定団体制度の廃止を提言。規制改革会議で「生乳流通改革」討議が行われ、17年に畜安法が改正された。改正畜安法の中に補給金交付制度が入ったが、元々の加工原料乳生産者補給金等暫定措置法が廃止となった。

コロナ禍とロシアのウクライナ侵攻

2020年の年初から新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックが急速に始まった。3月末には政府が学校を一齐に休校し、学乳の供給が緊急停止された。また、数次にわたる緊急事態宣言の発動で外出が大きく抑制され、生乳の需要が失われた。

2015年以降に取り組んできた生乳生産回復の成果が急速に出始めた場面と人が動かなくなった場面が

重なり、このミスマッチは大きく生乳不需要を生む結果となった。それ以降、国内の生乳不需要が大きな問題となった。

また、22年2月に、ロシアがウクライナに侵攻。資源国であるロシアが経済制裁を受け、資源エネルギー価格が急激に上昇した。輸入資源に頼っている日本は、為替の世界で国力が低下し、円安が急進した。円安水準が続く、輸入穀物、輸入粗飼料を含めた輸入コストの上昇で、生産コストが急激に上昇し、酪農家の収益が悪化した。

販売乳量と飲用需要

2020年の販売乳量は、コロナ禍前の19年と比較して大きく増え、22年度まで多い水準が続いたが、北海道を中心に22年夏ごろから減産に向かい、今年に入って19年を下回る水準まで生乳の生産量が減ってきた。

一方、コロナ禍での消費は微妙で、20年の飲用向けの販売乳量は19年並みだったが徐々に減り、今年はさらに輪をかけて減っている。コロナの期中から減っていた飲用需要が、乳価の値上げ以降、減少に拍車がかかってきている。

北海道での調整、離農者の増加で抑制がかかり、生乳生産は減ってきて

ているが、飲用需要が落ち、加工向けが増えている。コロナの初年に19年比で17万t、21年には28万t、22年は32万t増えている。販売したことに残っているが、これがそっくり在庫になった。なお、一部の生乳は非常事態処理として、余剰脱粉から飼料用脱粉への転用が行われた。

乳価交渉

急激な資材価格の上昇という酪農界の存立危機事態の中、足掛け2年かけ10円ずつ2回の分割払いというような乳価交渉の結果に、生産者の満足は得られていない。上げ幅が足りないとい、引き続き交渉を続けていくという状況で、西日本を中心にすでに要求額が出されている。

しかし、関東での要求内容は現状維持になると思われる。この先まだ飲用需要が減るかもしれず、生乳が余った場合のリスクの見極めができていないことが理由。

適正な価格形成

(飼料サーチャージ)

役所では、乳価の上げが遅く足りないという生産者の不満を受け、適正な価格形成のあり方がクローズアップされ、農水省の畜産局が事務局となり議論が始まった。

そこで持ち出された1つのアイ

ディアが、飼料の価格が上がった
ら、自動的に乳価に還元できないか
という仕組みの「飼料サーチャージ」
。しかし、小売価格に飼料コスト
を適正に反映することが難しい。
そのようなコストの乗せ方は、消費
を著しく減らす可能性があるなど、
全体のコンセンサスが得られず、意
見集約すること自体が非常に困難
で、サーチャージの実現は難しいと
いうのが結論になった。

また、飼料サーチャージによって
価格が上がり、売れない生乳がで
てくると生産者の手取りに影響する。
生乳を廃棄するにもコストがかか
る。サーチャージは、生産者にとつ
て有利な仕組みで、幻想みたいな絵
に描いた餅を提供するかもしれない
が、絵に描いた餅は食べることがで
きない。結局、酪農家が深刻なダメ
ジを受けることになるだろう。

適正な価格形成に関する

協議会

農水省新事業・食品産業部の主導
で、「適正な価格形成に関する協議
会」が立ち上げられた。価格を適正
化するための法制度ができないか、
有識者に意見を聞く会合で、飲用牛
乳と豆腐、納豆の3つの品目を個別
具体事例として議論されている。飲
用牛乳WG（ワーキンググループ）

は10月と11月に2度、会合が行われ
た。

役所は、市場の適正価格を算出す
るための計算式をシミュレーション
して作ろうと、生産者や乳業、小売
りに生産費のデータ提出を要請した
が、コストのデータは企業秘密の最
たるもので提供が得られず、議論が
立ち消えになるのか、今後も続くの
かわからない状況。

《生産者側の意見》

生産者の論理だけで消費者を納得
させるのは非常に難しい。値上げし
た分だけ売れなくなるのであれば、
生産者の手取り回復には寄与しない
ことになる。生産者の所得を支える
ためには、国が直接的な所得補償を
考えないといけないのではないか。

《乳業側の意見》

乳業は、生乳を買うのであって、
生産者の所得を支えるのは理屈が違
う。大きく値上げをしようとする
ば、当然に需要は落ち、余剰がさら
に深刻化する。生産者と歩み寄り協
調し合いながら課題を解決してい
きたい。

《酪農乳業外部の意見》

牛乳は、消費者の中でこれくらい
の価格というものが確固としてあ
る。上限どのくらいの価格であれば
買ってもらえるか「価格のイメー
ジ」が先にくる。牛乳が高くなり消

費者の手に届きにくくなれば「牛乳
に代わるものはないか」と商売人は
考える。また、今の価格に消費者は
酪農家の大変さはわかるが、「高く
なったな」という感情で向き合っ
ている。牛乳を手に取りにくくなっ
てきている。

生乳余剰

2022年の乳量は19年に比べて
21万t増え、飲用向けが10万t減っ
ているので31万tが余ったことにな
る。伸びていた生乳の生産量にブ
レーキがかかってきたが、飲用向け
販売量が減ってきている。

需給調整は今も若干の余剰感があ
るが、生産が減ったことで、昨年ま
での悲惨な状況ではなくなった。今
までは搾りすぎたから余っていた
が、今年になって潮目が変わり、売
れなくなったため余っているという
構図に変わってきている。

なお、系統外の飲用向け販売量
は、2020年302t、21年
324t、22年380t、23年1
0月340tと売れない売れないと
いつている中で自主流通は飲用の販
売量を伸ばしている。

酪農危機についての考察

存亡の危機にある酪農において、
一人ひとりが何をすればいいのかを



乳価情勢を学んだ参加者

考えてもらいたい。難しい、できな
いということはよくわかるが、牛乳
というものの価値をさらに一段上げ
る。あるいは、コスト状況を改善し
て乳価を逆に下げる。そのために何
をしないといけないか考える。そう
いう何かをやらないと今の状況を突

破していく材料は出てこない。

また、配合飼料への依存度の高さを少しでも下げていくことが必要。何らかの努力をしていくことが必要。現在の酪農は輸入配合飼料を抜きに経営が成立しない産業へと進化した。これが正しい酪農ではない。まだ進化の途中。配合飼料の価格は10年をスパンに上がり続けその過程で平成の畜産危機、令和の酪農危機が起きている。10年に1回、今回みたいに乳価の値上げを重ねていかないといけない。その時に消費者はお金を持つているのか。それを考えた時に、配合飼料に依存し続けていく状況を少し変えて、ウエイトを落とし、ていかなないと、また同じ危機を繰り返すことになる。次なる危機を避けるための努力を急いでやらないといけない。

結局いかにして生き残るかに尽きる。生き残っていくことが勝つことで、生き残ることが最終目標。そのため何をするか。それは、たぶん乳価だけでない。乳価が上がらない。欲しい乳価にならない。買って応援してもらおうのも簡単ではない。いろんな仲間と手を組んで、それで何か状況を前に動かしていくことをやっていかないといけない。それは価値であって、酪農というものの魅力の獲得であったり、チーズを

やってみようなど何か今までと目先の違う変化をどうやって作っていくか、そういったことをいろいろ重ねていくことでしか生き残っていく答えはないのではないかと考える。どうか、前に行く歩みが続けてもらいたい。ひどい状況を変えていきましよう。



西大寺・備南・びほく事務所 運営委員交流会開催

1月19日、「西大寺・備南・びほく事務所運営委員会の交流会」が、総社市「サンロード吉備路」において、おかやま酪農協の長恒組合長、

6年ぶりの開催となりました。

備南事務所運営委員会の三宅委員長の開会挨拶に続いて、長恒組合長、檜尾専務より最近の酪農情勢について報告がありました。

交流会の参加者
2時間という限られた時間でしたが、初めて会われた方、久しぶりに会われた方、それぞれ酪農への思い、地域の状況等、酪農談義に華が咲きなごやかな交流会でした。最後に参加者全員で記念撮影を行い、名残を惜しみつつ散会いたしました。

(備南事務所)

「供卵牛情報と採卵計画（3月分）」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

3月の採卵計画をお知らせします。

ご利用の場合やより詳細な情報が必要な場合は、最寄りの家畜保健衛生所、受精卵移植師の方等にご相談ください。

なお、能力評価を牛群検定成績から行うため、検定参加農家の方を譲渡対象としています。

また、採卵予定日や交配予定種雄牛は牛の体調・精液の確保状況等により、急遽変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

※ご希望・ご意見等ありましたら、畜産研究所までご連絡ください。

交配情報	供卵牛の遺伝能力評価等	採卵予定日
<p>♀：OAC キャリー デ克蘭 キヤシー チャシテイ ET (チャシテイ) 1607272593</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャシテイの系統。中庸サイズ。 ・高泌乳量、高乳脂量(特に乳脂量は1%以内)! ・体細胞スコアも非常に低い! 	<p>GEBV</p> <p>総合指数 1% 2331</p> <p>年齢 03-08 体高 151.9cm 体長 165.5cm</p>	3 / 7
<p>♂：サンディバレー P エンパワー ET (ヤングサイア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体型、能力、繁殖ともに優れたバランスブル!中庸サイズ。 ・低体細胞数スコア、疾病形質にも優れ、長期間にわたる活躍が期待できる! 	<p>GEBV</p> <p>総合指数 24% 1191</p> <p>年齢 05-02 体高 161.2cm 体長 172.2cm</p>	
<p>♀：OAC シドニー ロートラスト シエラ サニー ET (シドニー) 1546371654</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウイットニーサニー」の系統。 ・前の付着が強く、乳器形状も理想的!乳頭配置良く、ロボット搾乳も向く! 	<p>GPI</p> <p>総合指数 1% 2429</p> <p>年齢 00-10 体高 124.0cm 体長 138.8cm</p>	
<p>♂：パインツリー I パースーツ ET (2023.12月期TPI 28位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体型、能力、繁殖ともに優れたバランスブル!やや大型。 ・娘牛が多く、広く使用されながら、繁殖指数はプラスを維持! ・ロボット搾乳にも向く乳器構造、早い搾乳速度! 	<p>年齢 03-08 体高 151.9cm 体長 165.5cm</p>	
<p>♀：OAC シエラ レネゲード ジュール サニー ET (シドニー) 1655873971</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウイットニーサニー」の系統。上の「シエラ」の子で育成牛。 ・母譲りの乳器・乳頭配置! 	<p>年齢 05-02 体高 161.2cm 体長 172.2cm</p>	
<p>♂：ピーク ブレイドストーム ET (ヤングサイア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い乳脂肪量+92kgで乳脂率改善! ・非常に低い体細胞スコアで、乳房炎への抵抗性も高い! ・付着強く、幅のある乳器、配置もベストで長い生産寿命! 	<p>年齢 00-10 体高 124.0cm 体長 138.8cm</p>	

※GEBV：EBV+ゲノミック、GPI：ゲノミックのみの評価値です。(GPIの%はGEBV換算値です)

青年部全体交流会

1月29日、3年ぶりに「おかやま酪農協青年部 全体交流会」が、瀬戸内市「とれたて漁師の店 稲荷丸」で22名が参加し、開催されました。

開会にあたり、難波晃大委員長から「今回の交流会は、日々の酪農作業の問題点や悩みを話すことができ、場になればと思っています。牡蠣

を食べて栄養を補給し、活力をつけましょう。本日はたくさん召し上がり、楽しいひと時をお過ごしください」と挨拶がありました。

参加した部員たちは、虫明産の大きな牡蠣を食べながら日々の酪農のことについて話に花を咲かせていました。(生産支援課)

役員コンプライアンス研修会

2月1日、「役員コンプライアンス研修会」が、本所2階中会議室で開かれました。

同研修会は、組合理念である「おからく綱領」の実現に向けて、コンプライアンスの重要性、違反のリスク、遵守すべき法令の理解などを目的に毎年開いているもので、今年度は役員13名が参加し、ハラスメントへの対応などについて学び、組合員や職員個々の人権を尊重する組合風土の醸成について考えました。

研修会では、講師のJA岡山中央会の久山直樹参事から、ハラスメントは、パワーハラスメントやセクシャルハラスメント、マタニティハラスメントだけでなく、飲酒に関連した嫌がらせや迷惑行為のアルコールハラスメント、最近では性的指向

や性自認を暴露するSOGIハラスメントにも注意が必要。使用者がハラスメントに対する適切な対処を怠った場合には、「安全配慮義務違反に基づく債務不履行責任」や「使用者責任」「不法行為責任」などの民事責任(損害賠償責任)を負うリスクがあることを学びました。参加した理事から、「意識していない言動が、ハラスメントになっている場合もある。良好な職場環境のためにはマナー研修会も必要」「コンプライアンス研修会は継続して行うことが大切」など、コンプライアンス研修会の大切さを再認識されました。3月には職員を対象としたコンプライアンス研修会も行う予定です。

(総務部)

令和5年度「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会」優秀賞
岡山県立総社高等学校2年 川口梓紗さんのアイデアレシピ

玄米とシーフードのミルクリゾット焼き



★材料(4人分)

牛乳……………900ml
バター……………30g
玄米の飯……………600g
ベーコン……………80g
玉ねぎ……………320g
しめじ……………80g
いか(冷凍)……………80g
えび(冷凍)……………80g
ピザ用チーズ……………140g
にんにくチューブ…10g
顆粒コンソメ……………15g
塩こしょう……………少々
パセリ(乾燥)……………少々

★作り方

- ①玉ねぎは5～8mm角に切る。しめじは根元を切り落とし、手でほぐして洗う。
- ②ベーコンを1cm幅に切る。
- ③フライパンにバターとにんにくチューブを入れて弱火で炒める。香りが出たら玉ねぎを加えて半透明になるまで中火で炒める。
- ④ベーコン・しめじ・いか・えびを加え、しめじがしんなりするまで炒める。牛乳・顆粒コンソメ・玄米を加え、さっと混ぜてひと煮立ちさせる。
- ⑤塩こしょうをふって味を整える。
- ⑥丸ごとグラタン皿に入れて、ピザ用チーズをまんべんなく入れてトースターで10分焼く。
- ⑦焼いたものを大きなプレート皿へ移し替え、崩れないように周りをしゃもじで少し固める。
- ⑧一人40mlの牛乳をリゾットのまわりに流しこみ、パセリを最後にふったら完成。

酪農共済からのお知らせ

日頃より、酪農共済制度にご加入いただきありがとうございます！

I. 『酪農ハイ・メディカルSUPER』 ご加入の方

① コロナ見舞金給付の終了について

2023年5月8日以降「5類感染症」へと位置づけられた後も、当会独自の見舞金として一律2万円をお支払いしておりましたが、一定の役割を達成できたとの見地から、見舞金の対象を2024年3月31日までの罹患者とし、見舞金特別対応を終了いたします。

つきましては、コロナに罹患された方（過去に罹患された方も含む）には、見舞金の対象となる場合がございますので組合までご連絡お願いいたします。

※コロナ見舞金のご請求には、陽性を証明する書類が必要となります。

② 病気日帰り手術の見舞金給付の開始

昨今、入院を伴わない日帰り手術が増加しており、これに対応するため2024年3月1日以降の入院を伴わない所定の手術について、見舞金一律1万円を給付いたします。（例、「白内障手術」「大腸ポリープの切除手術」等）

II. 『酪農傷害共済制度』 加入年齢の拡大について

2024年3月1日加入分より15歳以上の方からご加入できるようになります。月々2,000円からのご加入で、おケガによる通院・入院も1日目から、しかも 工作中以外のケガも補償します。ぜひこの機会にご検討ください。

お問い合わせ先

おかやま酪農業協同組合 共済担当

☎ 0868-26-1101



ひろば

繁殖検診あるある

津山事務所 神野 卓哉

『繁殖検診あるある』

毎日の仕事として繁殖検診があります。直腸検査はまず左手を直腸内に挿入します。卵巣や子宮に到達するまで時間がかかります。そんな時間は、左手以外は特に忙しくなく、いろいろなことが気になり牛舎を観察しています。

①便の排泄に時間がかかると自分で出せばいいのにな？と思ったります。

②牛が座るのをじっくり観察したことはありますか？最初に座りたいところをクンクンにおつて場所を決めます。決めたらまず前肢を、次に後肢を曲げ、最後に前肢をたたんで座ります。

③直腸検査の際に牛が咳をするとうんちが散弾銃のように、まさにペガサス流星拳の如くうんちが飛んでいきます。

④下痢の際は腸に空気が入りやすく、また子宮が沈みやすく直腸検査しにくいです。毎日筋トレで左腕を鍛えてますがまだまだです。

⑤長靴は安全長靴ですので牛に踏

まれても大丈夫ですが、踏まれる際は安全でないところを踏まれます。

⑥子宮には特に個性があります。特に子宮頸管ですが、皆さん人工授精や移植で苦労されていますが、注入棒がなかなか通過しない子宮頸管があります。円柱状や円錐状など形も太さもバラバラです。肛門の締め付け具合もいろいろです。毎回腕を入れるも地獄、抜くも地獄の牛がいます。

『那岐山麓ミルク村』

那岐山麓ミルク村では、今日も朝から酪農家さんがおいしい牛乳を搾っています。

むかし、むかし、そのミルク村に若い獣医さんが赴任してきました。期待と不安でいっぱいでしたが覚えることが多すぎて、分からないことが分らない状態でしたが、大好きな牛と出会うことが救いでした。滝本村のフリーパールの牛舎にとても人懐っこい牛がいました。155号と呼ばれていた牛は、目が大きくクリツとして骨太で大きく群れの主のようでした。牛舎に到着すると起きて出迎えてくれました。帰る時も見送ってくれました。若い獣医さんはとも癒されました。辛い時に相談

にのってもらいました。いつも黙って聞いてくれました。繁殖検診の際はそばで見守ってくれました。他の牛に触れば嫉妬からか追いつ返していました。

155号はある日、卵胞嚢腫という繁殖障害になりました。妊娠して分娩しないと別れとなることを若い獣医さんは、知っていました。しかし、妊娠しませんでした。お別れの日が近づくのうすうすわかりましたが、どうすることもできません。家に連れて帰り飼ってみたいとも思いましたが、宅地では近所迷惑になることはわかっていましたので諦めました。酪農家さんは、牛舎からいなくなる日を教えてくれました。いなくなる前日若い獣医さんは最後の別れに会いにいきました。今日もいつものように出迎えてくれました。今日も黙って愚痴を聞いてくれました。いつものように見送ってくれました。若い獣医さんは、この日からもう泣かないと覚悟を決めました。



理事会報告

令和5年11月29日、第279回理事会を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。

令和5年11月7日・8日に実施した仮決算に係る監事監査の結果について各監事より報告があった。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和5年度生乳需給安定化対策について

令和5年度10月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○任期満了に伴う役員改選等のスケジュールについて

令和6年6月開催の通常総会で任期満了となる役員改選にあたり、役員推薦委員の選出、推薦会議開催の時期等を承認した。

○搾乳牛導入資金極度額の見直しについて

現在設定している搾乳牛導入資金

極度額について更新することとした。

○つなぎ融資資金の借入について(極度額の設定)

現在設定しているつなぎ融資資金の極度額について更新することとした。

○搾乳牛導入資金の長期転化借入について

農林中央金庫より借入している搾乳導入資金を証書借入金に転化することを承認した。

○職員の年末手当支給について

令和5年年末手当の支給について承認した。

○報告事項

酪農講演会の開催について、経営動態調査について、組合員数・戸数の状況について、組合員名簿等閲覧等請求事件の控訴審等について報告した。

令和5年12月26日、第280回理事会を理事10名、監事3名が出席し、開催した。

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和5年度生乳需給安定化対策について

令和5年度11月の生乳需給安定化

対策の進捗状況等について報告した。

○令和5年度仮決算に係る監事監査の回答について

令和5年度仮決算に係る監事監査に対する回答を協議し決定した。

○電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の設定について

電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の設定について、内容を協議し、事務処理規程の設定を承認した。

○第8次3ヶ年計画基本方針について

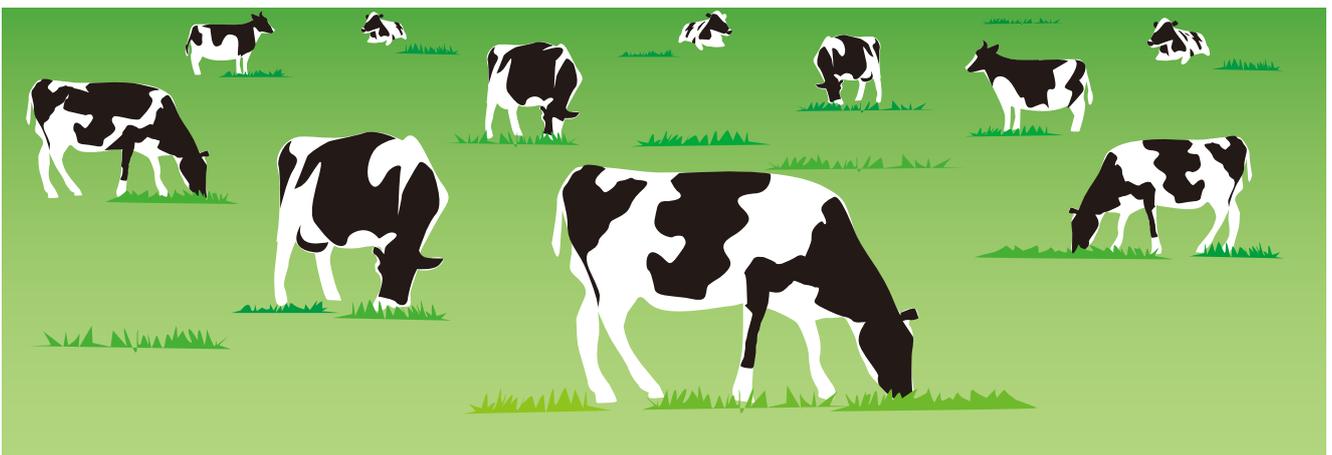
第8次3ヶ年計画の基本となる生乳生産量、搾乳農家戸数等の動向予測値について協議し、承認した。

○真南酪農組合役員会における意見について

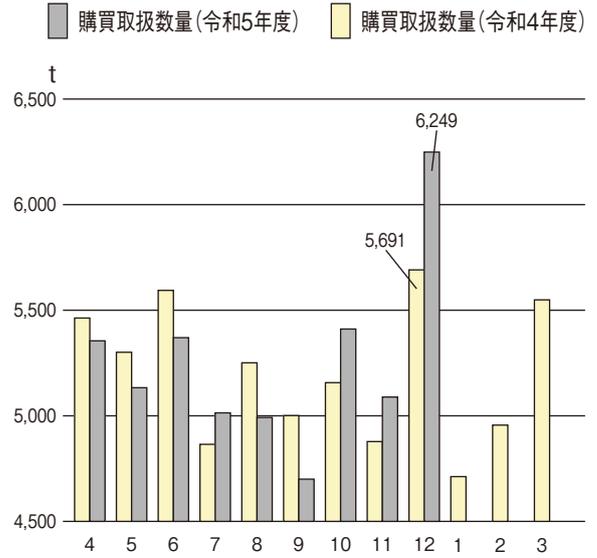
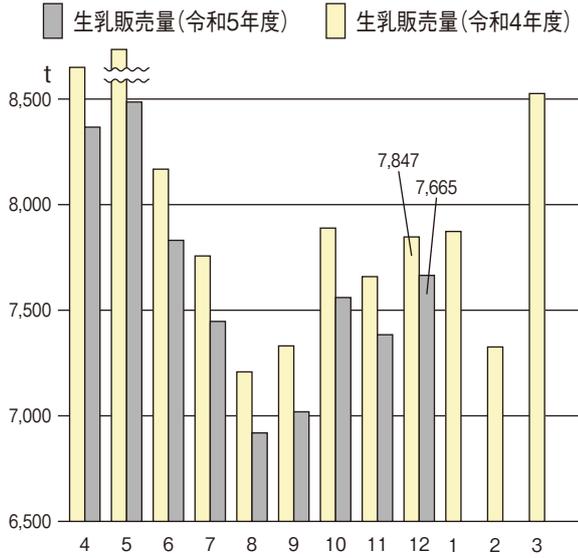
真南酪農組合役員会より機構改革・役員の数割りについて意見書が提出されたので、内容を確認し、組合長より書面で真南酪農組合長に回答することとした。

○報告事項

新年互礼会について、びほくSP閉鎖に伴う今後の対応について、ブラック&ホワイトシヨウ等の日程について報告した。



おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用	乳製品	その他
全国	12	566,041	264,899	160,616	140,526	97.5	97.0	99.7	95.9
	4~12	5,096,581	2,597,900	1,209,034	1,289,652	95.2	95.8	91.4	97.6
岡山県	12	7,665	6,900	628	137	97.9	96.8	115.2	88.4
	4~12	68,628	65,455	2,330	843	96.4	96.6	91.3	95.7
北海道	12	323,532	54,715	133,851	134,966	98.1	95.5	101.6	95.9



主な行事

- 2月**
- 1日 役員コンプライアンス研修会
理事会
おからく女性部新旧委員会
- 2日 備前地区女性部総会
蒜山ホルスタイン改良同志会総会
- 5日 定例監事監査(～6日)
- 6日 津山・蒜山事務所運営委員会
備南女性部総会
- 7日 おからく青年部委員会
- 8日 全酪連役員・監事・職員研修会
(～9日・仙台市)
- 9日 酪農畜産議員連盟研修会
酪政連研修会
- 16日 備南青年部総会
- 21日 管理職会議
- 26日 備前地区青年部総会
- 27日 津山地区酪農組合研修会
- 3月**
- 4日 理事会
- 5日 青年部・女性部酪農発表大会・総会
- 7日 勝英地区ブロック会議
- 13日 評議員会
- 16日 おかやまB&Wショウ
- 19日 管理職会議
- 27日 理事会

北海道初妊牛価格

1月については、春産みの出回りが本格化したのが、昨年の猛暑の影響で出回り頭数が減少、都府県の需要が活発化したことから、平均価格は税込62万円(前月比12万4千円高)と大きく値を上げて推移しました。

2月については、出回り頭数は引き続き前年を下回る見込みに加え、道内外共に春産みの需要は前月と同程度の引き合いが期待され、相場はさらに強含みで推移することが予想されます。